

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
特許・実用新案法応用特論 Applied Patent / Utility Model Law		Z 308	2 単位	3 学期
科目分野		課程領域		
産業財産権		知的財産マネジメント専門科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
加藤 浩一郎 酒井 宏明	-	メールアポイントにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)		
特許・実用新案法特論1(※1)	特許・実用新案法特論2(※1)	←【※1: 以下注意事項を参照】
特許出願・審査特論	特許審判特論	

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

本科目は、特許・実用新案法に関して、講義科目によって講義された事項の理解を深めることを目的として、特許・実用新案法に関する主要な判例について講義を行うものである。授業はテキストの指定された判例について取り上げ、特に特許・実用新案法に関する主要な判例について知的財産プロフェッショナルとして必要な専門的事項に関する知識が確実に得られるようにする。

到達(修得)目標

特許・実用新案法に関する主要な判例について知的財産プロフェッショナルとして必要な専門的事項に関する知識を修得する。

受講対象者

知的財産プロフェッショナルとなるために、特許法・実用新案法に関して専門的な事項を修得することを希望する者。
特許・実用新案法特論1・2の2科目について単位を取得している者であること。

履修上の注意事項やアドバイス

※1 本科目の履修は、特許実用新案法特論1、特許実用新案法特論2の2科目全ての単位取得(合格)が必要です。

※ 欠席が、4コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位取得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー	○	Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	○	Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務	○	Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント		Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	○
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

ブラクティカム

イベント / ケース	教育技法	マテリアル / ツール
1 指定された判例についての発表(院生)	プレゼンテーション	パワーポイント
2 指定された判例についてのレポート	レポート(報告書)	
3 期末テスト	ペーパーテスト	筆記式試験

評価の方法

(総合評価項目と割合)		評価の要点
平常点(出席、授業への貢献)	20%	毎回、事務局より出席簿を準備する。授業内での的確かつ積極的な発言は、その内容を評価する。プレゼンテーション及びレポートにおいて、授業の理解度を確認する。また期末テストを行う。
プレゼンテーション、レポート	30%	
期末テスト	50%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	特許法判例百選[第5版](有斐閣)	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	最高裁判所民事判例集 無体例集 最高裁判所判例解説民事編 特許法判例百選[第3版](有斐閣) 特許法判例百選[第2版](有斐閣) 特許法判例百選[初版](有斐閣) 知的財産法判例集(有斐閣) 法学教室(有斐閣) 判例時報 判例タイムス 等	購入不要
参考URL		
適宜紹介予定		

★講師担当回の変更が生じる場合があります

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	判例講義1		加藤(浩)	180分
	判例講義2		酒井	
	イベント			
3.4	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定) ※報告者については履修者が確定後に決定(以下同じ)		加藤(浩)	180分
	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)			
	イベント			
5.6	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)		加藤(浩)	180分
	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)			
	イベント			
7.8	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)		酒井	180分
	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)			
	イベント			
9.10	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)		酒井	180分
	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)			
	イベント			
11.12	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)		酒井	180分
	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)			
	イベント			
13.14	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)		加藤(浩)	180分
	判例報告、質疑・討論(判例は2件を予定)			
	イベント			
15.16	まとめ、復習		酒井	180分
	期末テスト(90分)			
	イベント			

※ 講義日程は、学事ポータルでの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。

専任教授 確認記録欄
確認者氏名： 加藤